

項目	ルーマニア	根拠資料
<b>1. 基礎データ</b>		
高等教育機関数（大学・大学院・その他）	大学：計90校 うち、国立大学：55校、公認取得済み私立大学：35校 （※2019年時点）	出典： <a href="http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table">http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table</a>  ルーマニア統計局ウェブサイト・教育機関に関する情報 備考：同ウェブサイトの「A.7 Education」で「1.School Units」に記載。
高等教育の卒業生数（学部生、院生）	在学生総数：402,696人 うち、大学院生：83,210人 （※2018年時点）	出典： <a href="http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table">http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table</a>  ルーマニア統計局ウェブサイト・専門分野別の高等教育機関に在籍する学生 備考：同ウェブサイトの「A.7 Education」で「5.Graduates」に記載。
高等教育概要（入学、学生生活、卒業）	高校卒業後、ルーマニアで大学進学を決定した高校生は、受験希望大学に申し込んだ後、高校卒業試験の成績を基に入学するのが通例。入学試験を課す大学もある。2020年度はパンデミックにより、ルーマニアのほとんどの大学や学部で、事前登録、登録、専攻選択の各プロセスがオンラインで実施され、入学試験を求めた学部はごくわずかだった。  2019年度のルーマニアにおける学生数は合計543,299人（国公立大学475,823人、私立大学67,476人）。 優秀な学生は在学中、実践経験を積むため、企業インターンシップの機会を積極的に探す。特に工科大学においては各学部の研究実験室があり、企業との協力協定を基にインターンシップが学内活動として実施可能。 学位を取得するには卒論執筆が必要であり、大学院課程も同様。	出典： <a href="http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table">http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table</a>  ルーマニア統計局ウェブサイト・教育レベル、県、地域分別の登録人口 備考：同ウェブサイトの「A.7 Education」の「2.School aged population」に掲載されている。

項目	ルーマニア	根拠資料
<p>学生が就職する一般的な方法、一般的なプラットフォーム（就職情報サイト名など）</p>	<p>キャリア・フォーラムへの参加が最もよく使われる手段の1つ。2006年から開催されているキャリア・フォーラム「Angajatoride Top」が特に人気がある。また、ルーマニアの最も人気のあるオンラインの就活プラットフォームは、Hipo.roやBestJobs.eu。学生の中には、個人レベルでも求人広告に応募したり、オンラインで企業に履歴書を積極的に公表したりする学生もいる。一方、ITや自動車など、従業員の需要が非常に高い特定の専門分野については、企業が大学と提携しており、インターンシップやアルバイトなどを通じて、学部時代から学生を囲い込むケースもある。政府補助金の事例として、インターンシップから雇用された2年以上勤務した新卒生に対して、一人当たり1,000ユーロが企業に支払われる新卒就職促進策がある。</p>	<p>https://www.catalyst.ro/project/angajatori-de-top/            大手人材派遣会社ウェブサイト、ルーマニア最大のオンラインジョブフェアの主催者            https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/targabsolventi/ghid_angajare            大手人材紹介会社ウェブサイト、若者のための雇用ガイド            https://www.bestjobs.eu/            大手人材紹介プラットフォーム</p>
<p>卒業後の一般的なキャリア形成</p>	<p>学生組合によると、ルーマニアの大学生の卒業後のキャリアとして、現在最も関心が高いのは、国内外問わず、給与の高い外資系企業に就職することである。次いでルーマニア国内の大手企業での就職、また、自ら起業したり、家族の事業を引き継いだりすることなどが人気のある選択肢。長期的視野での安定を求め、政府機関、警察、国防当局での就職を考える学生も多い。</p>	<p>ルーマニアの学生組合へのインタビュー</p>
<p>キャリアへの一般的な考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）</p>	<p>外国語が話せるルーマニア人学生は、多くの者が外国に転居して就職する。国外で就職する学生は特にIT系や工学系などにおいて顕著。行き先としては、EU内ではドイツ、英国、イタリア、スペイン、デンマーク、アイルランド、EU外では米国とカナダの人気が高い。なお、ロボット工学と電子工学の卒業生については、日本への就職を検討することがある。学生組合のデータによると、2020年現在、学生の仕事選びの際に最も重要な基準は「仕事のフレキシビリティ」とされている。</p>	<p>https://www.rri.ro/it_it/romanians_studying_abroad-2605234            ルーマニア人学生の留学事情に関する地元メディア報道            https://stirileprotv.ro/stiri/financiar/tara-care-ademeneste-studentii-romani-cu-salarii-de-10-ori-mai-mari-ca-la-noi.html            ルーマニア人学生の日本企業への就職に関する地元メディア報道</p>

項目	ルーマニア	根拠資料
<p>学卒者／院卒者の給与の考え方や相場</p>	<p>ルーマニアの卒業生・大学院生のジュニアレベルとエントリーレベルの初任給は、業種によって大幅に異なる。外国語が得意な学生が最初の仕事として選ぶのは、多国籍企業のコールセンターであることが多い。ルーマニアの2020年時点での全業種の平均月額手取り給与はおおよそ3,200～3,300RON（1RON≒約26円、2020年10月時点）だが、日本語など、特に珍しい言語のエントリーレベルの月給はこれよりも高く、日本語レベルが高い場合は手取り7,000レイほどになることもある。</p> <p>業種全体を見ると、ITやコンピュータサイエンス関連企業の新卒給与平均がルーマニアでは最も高い。2020年7月現在、ルーマニアにおけるコンピューター・プログラミング、コンサルティング関連（情報サービス含む）の平均給与は手取り月額で7,910RON。</p> <p>IT関連人材会社のCodecool社の調査によると、新卒学生（ジュニアレベル）の平均的な月額手取り給与の事例は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルスタックエンジニア： 3,770-7,000 RON</li> <li>・研究・開発担当： 3,140-5,000 RON</li> <li>・ソフトウェア品質確認担当： 2,125-5,000 RON</li> </ul>	<p>出典：  <a href="https://insse.ro/cms/sites/default/files/com_presa/com_pdf/cs07e20.pdf">https://insse.ro/cms/sites/default/files/com_presa/com_pdf/cs07e20.pdf</a>            ルーマニア統計局のプレスリリース</p> <p><a href="https://codecool.com/ro/blog/top-salarii-it/">https://codecool.com/ro/blog/top-salarii-it/</a></p>
<p>学生との主要交流イベント（日本企業も参加できるイベント）</p>	<p>最も大規模な交流イベントは「Erasmus+（エラスムス・プラス）」。これには大学、専門学校、シンクタンク、研究機関、民間企業など、さまざまな組織が参加する。日本関係の交流イベントについては、クルージュ・ナポカ市の「千羽鶴」日本研究センター（SCJS）、ブカレスト市の日本ルーマニア研究センター（CSRJ）などが、主にオンラインイベントを開催している。</p> <p>大規模なキャリア・フォーラムとしては「Angajatori de Top」、「Targul de Cariere」といったイベントがある。これらはコロナウイルスの影響で、2020年はオンライン開催となった。その他、サイバー分野の専門学生組織による交流イベントなどがある。</p>	<p><a href="https://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/opportunities_en">https://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/opportunities_en</a>            欧州委員会ウェブサイト</p> <p><a href="https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/targabsolventi">https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/targabsolventi</a>            大手人材紹介会社ウェブサイト、2020年大学院生のためのバーチャルフェア「Hipo.ro」</p> <p><a href="https://www.targuldecariere.ro/evenimente">https://www.targuldecariere.ro/evenimente</a>            ジョブフェア</p> <p><a href="https://sisc.ro/proiecte/">https://sisc.ro/proiecte/</a>            サイバー分野の専門学生組織のウェブサイト</p>
<p><b>2. 日本語人材</b></p>		
<p>外国への留学生数、うち日本への留学生数</p>	<p>ルーマニアのテレビ局ProTVが引用したユネスコのデータによれば、2018年には、総数で38,000人以上のルーマニア人学生が留学しているが、主な目的地は、英国、オランダ、フランス、イタリア、スペインとなっている。一年あたりで見ると、約4,000人のルーマニア人学生が留学している。</p>	<p>出典：  <a href="https://stirileprotv.ro/stiri/social/peste-4000-de-tineri-romani-pleaca-anual-sa-invete-in-strainatate-cati-se-mai-intorc.html">https://stirileprotv.ro/stiri/social/peste-4000-de-tineri-romani-pleaca-anual-sa-invete-in-strainatate-cati-se-mai-intorc.html</a></p>

項目	ルーマニア	根拠資料
日本語専攻の卒業生数	ルーマニア留学生連盟（LRSA）日本支部コーディネーターによると、現在、日本には20人以上のルーマニア人学生がいる。これは日本の文部科学省の奨学金受給者と、JASSOプログラムによる補助金受給者のみがカウントされているため、実際の留学生はこれよりも多いと考えられる。	ルーマニア日本語教師協会へのヒアリング <a href="https://lett.ubbcluj.ro/sembazuru/specializare.php">https://lett.ubbcluj.ro/sembazuru/specializare.php</a> クルージュ・ナポカ市の「千羽鶴」日本研究センター（SCJS）
日本語を専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	特に人気のある就職先の一例としては、通訳・翻訳会社、日本文化専門のNGO、コールセンター、日系企業などが挙げられる。	ルーマニア日本語教師協会へのヒアリング
キャリアへの一般的な考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	ルーマニア日本語教師協会によると、日本語専攻の学生は、日本語が使える企業に関心があるが、直接日本に移住することに関心を持つ者もいる。特に日本の働き方や日本のライフスタイルに興味のある学生についてこの傾向が強く、就職希望の分野は、IT、高度技術、電子技術、ロボット技術、ゲーム産業、マンガ＆アニメなどが挙げられる。ルーマニア留学生連盟（LRSA）の日本支部コーディネーターによると、語学を活かして卒業後に日本に移住したい意志のある学生が多数いる一方、日本の厳しい労働環境を嫌う学生もいる。異文化のため、日本企業でもよほどフレキシブルで国際化された企業でなければ、学生が日本での就職を好んで探すことはない。むしろ、ルーマニアで日本語や日本文化を啓蒙する団体、または在ルーマニアの進出日系企業で就職したいとする学生が多い。	ルーマニア日本語教師協会へのヒアリング
日本語を専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベント、大学就職課へのコンタクト、など）	最も一般的なのは、日本語学科・日本語コースのある大学や、民間の日本語学校などに問い合わせの上、人材紹介を依頼すること。また、毎年3月に開催される在ルーマニア日本国大使館主催の日本語弁論大会に参加し、日本語能力と適性を見て有力人材に直接コンタクトするケースも多い。さらに、ルーマニア人学生の多くはフェイスブックなどのSNSに履歴を掲載していることが多いため、これらの情報を頼りに、人材を直接探すことも広く行われている。	ジエトロブカレストによる在ルーマニア日本商工会員へのヒアリング

項目	ルーマニア	根拠資料
<p>日本語専攻を有する主要高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）</p>	<p>1. ブカレスト大学  ブカレスト大学日本語学科は1975年に設立。ルーマニアで最も古く、最大の日本語学科。多くの日本の大学と様々な交流プログラムを持っている。  <a href="https://unibuc.ro/contact/?lang=en#1542639775084-ba5c05a7-9439">https://unibuc.ro/contact/?lang=en#1542639775084-ba5c05a7-9439</a>  <a href="http://japoneza.lls.unibuc.ro/?page_id=90">http://japoneza.lls.unibuc.ro/?page_id=90</a>  外国語文学部  Tel : + 4021-314 89 65 / + 4021-311 68 37  電子メールアドレス decanat@lls.unibuc.ro</p> <p>2. バベシュ・ボヤイ大学  クルージュナポカ市に所在し、神戸大学、愛媛大学、神奈川大学、武蔵野大学などとの交流プログラムがある。  日本語学科長によると、毎年平均5名の学生が日本に留学している。2020年時点での日本語専攻学生は約100人。2008年、アジア言語・文学学科において「千葉鶴」日本研究センター[SCJS]が設立され、選択授業が毎週一回実施されている。なお、別途、同大学のビジネス学科は日本センターを開設しており、クルージュナポカ市在住の日本人教師が在籍する。学科長は神戸大学に計4年間、研究員としての在籍経験があり、実学の観点から意欲的に日本との交流を進めている。  アジア人文学科  <a href="https://lett.ubbcluj.ro/departments/department-of-asian-languages-and-literatures/?lang=en">https://lett.ubbcluj.ro/departments/department-of-asian-languages-and-literatures/?lang=en</a>  電話番号 +40 264 534 898 内線5609  ビジネス学科  <a href="https://www.ubbcluj.ro/en/facultati/business">https://www.ubbcluj.ro/en/facultati/business</a>  電話番号 +40 264 405 300  メール contact@ubbcluj.ro</p>	

項目	ルーマニア	根拠資料
	<p>3. ヒペリオン大学            社会人間自然科学部で、ルーマニア語の副専攻として日本語を選択可能。日本語を選択する学生数はおよそ25～30人／年。  <a href="https://www.hyperion.ro/en/contact">https://www.hyperion.ro/en/contact</a>            社会人間自然科学部            電話番号 +40 21 323 5593 内線129            メール litere@hyperion.ro</p> <p>4. デイミトリエ・カンテミール・クリスチャン大学            外国語文学部で日本語コースがある。また、神戸大学、共愛学園大学との交流プログラムもある。  <a href="http://limbi-straine.ucdc.ro/en/secretariat.php">http://limbi-straine.ucdc.ro/en/secretariat.php</a>            外国語文学部            電話番号 +40 21 330 8720            メール flis@ucdc.ro</p>	
<b>3. IT・デジタル関連人材</b>		
<b>(1) 大学生・大学院生の新卒者の採用</b>		
IT・デジタル専攻の卒業生数	国立統計研究所によると、2018年度、ルーマニア国内のIT学部およびコンピュータ学部の卒業生総数は7,879人。	出典： <a href="http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table">http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table</a>
ITを専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	Catalyst社が実施した2020年度の調査によると、IT・コンピューター専攻の学生による希望就職先として人気があるのは、マイクロソフト、オラクル、IBM、Endava、コンティネンタルなどの大手多国籍IT企業。また、IT学生の多くが、在学時代から中小IT企業からの高給オファーを受けて仕事をしている実態がある。	出典：Catalyst社の「2020年最高評価雇用者調査」（ルーマニア語のみ） <a href="https://www.catalyst.ro/topul-celor-mai-doriti-angajatori-2020/">https://www.catalyst.ro/topul-celor-mai-doriti-angajatori-2020/</a>
キャリアへの考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	ルーマニアの学生組合へのインタビューによれば、特に現在のコロナ危機中において、フレキシブルな就業時間が設定可能であることや、在宅勤務が許されることなど、柔軟な勤務体系を持つ企業の人気が高い。	ルーマニアの学生組合へのインタビュー
外国語力（日本語、英語）	ルーマニアの教育制度においては、外国語教育や科学技術教育が特に重視されている。特に英語は、IT分野で必須の言語として、工学部なども教えられている。ルーマニアのホワイトカラーの職場の約90%において高い英語力が必要とされるが、IT専攻の学生は特に英語能力が高い。一方、これらのIT専攻や工学専攻の学生のうち、日本語ができる学生はほとんどいない。	ルーマニアの学生組合へのインタビュー

項目	ルーマニア	根拠資料
第三国（当該国&日本以外）での就職状況	2019年、IT関連人材会社のCodecool社がIT専門の人材派遣会社Brainspottingと共同で実施した調査によると、これまで把握できているだけで37,031人のIT人材がルーマニア国外で就職していることが判明している。ルーマニアのIT人材は、主にドイツ、フランス、英国、米国に移住して働いているが、ルーマニアからリモートでこれらの国の企業や顧客のために働く人材もいる。一方、ルーマニア国内におけるプログラマーは毎年15,400人以上不足しているおり、この数は今後3年間で見込める専門人材の80%にしか満たない。ルーマニア国内のIT専門家の給与が他国の給与にかなり近づいてきていることから、外国で就職しているIT人材がルーマニアに戻ってくることを期待するIT企業も多い。	<a href="https://codecool.com/ro/blog/studiu-deficit-programatori-romani/">https://codecool.com/ro/blog/studiu-deficit-programatori-romani/</a>
日本企業や日本での勤務の考え方（あれば）	学生組合へのインタビューによれば、ルーマニアでITを専攻する学生は、日本のIT技術を非常にリスペクトしている。一方、柔軟でフレキシブルな就業条件を重視する学生が多く、職場環境が厳しすぎたり、フォーマルすぎたりするような日本企業で働きたい人は多くはない。	ルーマニアの学生組合へのインタビュー

項目	ルーマニア	根拠資料
IT関連専攻を有する主要高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）	<p>1. ブカレスト工科大学（オートメーション・コンピューター学部） 同学部は1967年設立と古く、共産時代からIT人材の主要養成機関となっている。また、世界中の様々な大学や研究所と学術研究協力関係を持つ。</p> <p>2. ブカレスト大学（数学・コンピューターサイエンス学部） ルーマニアの最も権威のある教育機関のひとつ。卒業生の就職率は90%以上。</p> <p>3. ルーマニア経済大学（サイバネティクス・統計・情報学部） ルーマニアの企業側が求める人材の出身校として、常に上位に位置する大学。卒業生は、様々な国内ビジネス分野でリーダーシップを取っている。</p> <p>4. バベシュ・ボヤイ大学（数学・コンピューターサイエンス学部） ルーマニア北西部のクルージュナポカ市に所在。卒業生は国内IT企業から高く評価されている。</p> <p>5. アレクサンドル・ヨアン・クザ大学（コンピューター学部） 1992年設立。ルーマニア北東部の国内第2の人口を抱えるヤシ市に所在。世界各地の大学との共同研究、IT企業との提携関係に定評がある。</p>	<p>2. <a href="https://unibuc.ro/studii/facultati/facultatea-de-matematica-si-informatica/?lang=en">https://unibuc.ro/studii/facultati/facultatea-de-matematica-si-informatica/?lang=en</a></p> <p>3. <a href="http://csie.ase.ro/home">http://csie.ase.ro/home</a></p> <p>4. <a href="https://www.ubbcluj.ro/en/facultati/matematica_informatica">https://www.ubbcluj.ro/en/facultati/matematica_informatica</a></p> <p>5. <a href="https://www.uaic.ro/en/studies/faculties/faculty-computer-science/">https://www.uaic.ro/en/studies/faculties/faculty-computer-science/</a></p> <p>6. <a href="https://www.upt.ro/Informatii_automation-and-computing_128_en.html">https://www.upt.ro/Informatii_automation-and-computing_128_en.html</a></p>
IT・デジタルを専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	<p>Angajatori de Top、Targul deCarriereなどのジョブフェアで募集するのが一般的。また、有力な国内理工系大学と提携し、在学中からインターンシップ等を実施することも可能。また、ルーマニア人学生の多くはフェイスブックなどのSNSに履歴を掲載していることが多いため、これらの情報を頼りに、通年で人材を直接探すことも広く行われている。</p>	<p>電話番号 +40 21 314 2863</p>

項目	ルーマニア	根拠資料
IT・デジタル分野での就労者数	2020年現在、ルーマニアでは15万人以上のIT人材が働いている。近年、プログラマー数が増え続けている以上に、需要自体がそれを上回る勢いで伸びているため、Brainspotting社のように、IT専門の人材派遣会社があるほど。 <a href="https://brainspotting.ro/">https://brainspotting.ro/</a>	出典： <a href="https://incont.stirileprotv.ro/companii/marile-companii-it-din-romania-si-au-majorat-de-patru-ori-afacerile-in-ultimii-10-ani-si-au-contribuit.html">https://incont.stirileprotv.ro/companii/marile-companii-it-din-romania-si-au-majorat-de-patru-ori-afacerile-in-ultimii-10-ani-si-au-contribuit.html</a> ルーマニアのテレビ局  <a href="https://www.zf.ro/business-hi-tech/anis-volumul-pietei-locale-de-it-ajunge-la-aproximativ-6-miliarde-de-euro-in-acest-an-18651916">https://www.zf.ro/business-hi-tech/anis-volumul-pietei-locale-de-it-ajunge-la-aproximativ-6-miliarde-de-euro-in-acest-an-18651916</a> ルーマニアの大手日刊経済新聞のウェブサイト。
実務経験者（転職者）の就職方法	上記のBrainspottingのようなIT専門人材派遣会社が利用できるほか、高度IT人材専門のヘッドハンティング業者やオンライン採用プラットフォームもある。フェイスブックやLinkedInといったSNSも活発に利用されている。また、企業が従業員を探すための手段として、IT部門の就職フェアも人気がある。一例としては、Angajatori de Top、Targul deCarriereなど。ルーマニアではIT関係の資格を保有する人材への需要が非常に高く、人材獲得競争も激しいため、魅力的なインセンティブや柔軟な勤務条件を付与する企業が多い。	出典： <a href="https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/angajatoridetop">https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/angajatoridetop</a> 大手人材紹介会社によるオンラインジョブフェア。 <a href="https://www.targuldecariere.ro/">https://www.targuldecariere.ro/</a> 大手人材紹介会社によるオンラインジョブフェア。
外国語力（日本語、英語）	ルーマニアのIT人材は英語を標準的に使用する。前述のCodecool社と Brainspotting者の協同調査によると、15万人近くのルーマニアのIT専門家の98%は英語が堪能。その他の外国語としては、イタリア語、フランス語、スペイン語、ドイツ語などのIT人材が比較的多い。ルーマニア日本語教師協会によると、日本語を話すIT人材は非常に少ないものの、日本語専攻以外の学部を卒業した日本語話者が100人ほどいることが分かっている。	<a href="https://codecool.com/ro/blog/studiu-deficit-programatori-romani/">https://codecool.com/ro/blog/studiu-deficit-programatori-romani/</a> コンピュータプログラミング学校、ルーマニアにはプログラマーの不足に関する調査。

項目	ルーマニア	根拠資料
IT・デジタル分野の実務経験者へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	<p>上述のAngajatori de Top、Targul deCarriereなどのジョブフェアの利用、IT人材専門の人材派遣会社などを利用するのが一般的。また、SNSを利用したり、大手求人サイトに求人広告を掲載したりするのも効果的。海外への人材流出などによる人材不足とニーズの高まりにより、長期的な売り手市場となっているので、給料以外にも、福利厚生面で他社よりも好待遇にして人材を集める必要がある（ミールパウチャー提供、スポーツジム利用権提供、休日の社有車利用ほか）。有力理工系大学との提携を基に、人材を紹介してもらうことも広く行われている。</p>	<p>ジエトロブカレストによる在ルーマニア日本商工会員へのヒアリング</p>
<b>4. 機械工学・電気関連人材</b>		
<b>(1) 大学生・大学院生の新卒者の採用</b>		
機械工学・電気関連専攻の卒業生数	<p>大学：計90校 うち、国立大学：55校、公認取得済み私立大学：35校 (※2019年時点)</p>	<p>出典：http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table</p> <p>ルーマニア統計局ウェブサイト・教育機関に関する情報 備考：同ウェブサイトの「A.7 Education」で「1.School Units」に記載。</p>
機械工学・電気関連系を専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	<p>在学生総数：402,696人 うち、大学院生：83,210人 (※2018年時点)</p>	<p>出典：http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table</p> <p>ルーマニア統計局ウェブサイト・専門分野別の高等教育機関に在籍する学生 備考：同ウェブサイトの「A.7 Education」で「5.Graduates」に記載。</p>

項目	ルーマニア	根拠資料
<p>キャリアへの考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）</p>	<p>高校卒業後、ルーマニアで大学進学を決定した高校生は、受験希望大学に申し込んだ後、高校卒業試験の成績を基に入学するのが通例。入学試験を課す大学もある。2020年度はパンデミックにより、ルーマニアのほとんどの大学や学部で、事前登録、登録、専攻選択の各プロセスがオンラインで実施され、入学試験を求めた学部はごくわずかだった。</p> <p>2019年度のルーマニアにおける学生数は合計543,299人（国公立大学475,823人、私立大学67,476人）。</p> <p>優秀な学生は在学中、実践経験を積むため、企業インターンシップの機会を積極的に探す。特に工科大学においては各学部の研究実験室があり、企業との協力協定を基にインターンシップが学内活動として実施可能。</p> <p>学位を取得するには卒論執筆が必要であり、大学院課程も同様。</p>	<p>出典：  <a href="http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table">http://statistici.insse.ro:8077/tempo-online/#/pages/tables/insse-table</a>  ←同上</p> <p>ルーマニア統計局ウェブサイト・教育レベル、県、地域別の登録人口備考：同ウェブサイトの「A.7 Education」の「2.School aged population」に掲載されている。</p>
<p>外国語力（日本語、英語）</p>	<p>キャリア・フォーラムへの参加が最もよく使われる手段の1つ。2006年から開催されているキャリア・フォーラム「Angajatoride Top」が特に人気がある。また、ルーマニアの最も人気のあるオンラインの就活プラットフォームは、Hipo.roやBestJobs.eu。学生の中には、個人レベルでも求人広告に応募したり、オンラインで企業に履歴書を積極的に公表したりする学生もいる。一方、ITや自動車など、従業員の需要が非常に高い特定の専門分野については、企業が大学と提携しており、インターンシップやアルバイトなどを通じて、学部時代から学生を囲い込むケースもある。政府補助金の事例として、インターンシップから雇用された2年以上勤務した新卒生に対して、一人当たり1,000ユーロが企業に支払われる新卒就職促進策がある。</p>	<p><a href="https://www.catalyst.ro/project/angajatori-de-top/">https://www.catalyst.ro/project/angajatori-de-top/</a>  大手人材紹介会社ウェブサイト、ルーマニア最大のオンラインジョブフェアの主催者</p> <p><a href="https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/targabsolventi/ghid_angajare">https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/targabsolventi/ghid_angajare</a>  大手人材紹介会社ウェブサイト、若者のための雇用ガイド</p> <p><a href="https://www.bestjobs.eu/">https://www.bestjobs.eu/</a>  大手人材紹介プラットフォーム</p>
<p>第三国（当該国&amp;日本以外）での就職状況</p>	<p>学生組合によると、ルーマニアの大学生の卒業後のキャリアとして、現在最も関心が高いのは、国内外問わず、給与の高い外資系企業に就職することである。次いでルーマニア国内の大手企業での就職、また、自ら起業したり、家族の事業を引き継いだりすることなどが人気のある選択肢。長期的視野での安定を求め、政府機関、警察、国防当局での就職を考える学生も多い。</p>	<p>ルーマニアの学生組合へのインタビュー</p>

項目	ルーマニア	根拠資料
日本企業や日本での勤務の考え方（あれば）	<p>外国語が話せるルーマニア人学生は、多くの者が外国に転居して就職する。国外で就職する学生は特にIT系や工学系などにおいて顕著。行き先としては、EU内ではドイツ、英国、イタリア、スペイン、デンマーク、アイルランド、EU外では米国とカナダの人気の高い。なお、ロボット工学と電子工学の卒業生については、日本への就職を検討することがある。学生組合のデータによると、2020年現在、学生の仕事選びの際に最も重要な基準は「仕事のフレキシビリティ」とされている。</p>	<p>https://www.rri.ro/it_it/romanians_studying_abroad-2605234 ルーマニア人学生の留学事情に関する地元メディア報道</p> <p>https://stirileprotv.ro/stiri/financiar/tara-care-ademeneste-studentii-romani-cu-salarii-de-10-ori-mai-mari-ca-la-noi.html ルーマニア人学生の日本企業への就職に関する地元メディア報道</p>
機械工学・電気を専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	<p>ルーマニアの卒業生・大学院生のジュニアレベルとエントリーレベルの初任給は、業種によって大幅に異なる。外国語が得意な学生が最初の仕事として選ぶのは、多国籍企業のコールセンターであることが多い。ルーマニアの2020年時点での全業種の平均月額手取り給与はおおよそ3,200～3,300RON（1RON≒約26円、2020年10月時点）だが、日本語など、特に珍しい言語のエントリーレベルの月給はこれよりも高く、日本語レベルが高い場合は手取り7,000レイほどになることもある。</p> <p>業種全体を見ると、ITやコンピュータサイエンス関連企業の新卒給与平均がルーマニアでは最も高い。2020年7月現在、ルーマニアにおけるコンピューター・プログラミング、コンサルティング関連（情報サービス含む）の平均給与は手取り月額で7,910RON。</p> <p>IT関連人材会社のCodecool社の調査によると、新卒学生（ジュニアレベル）の平均的な月額手取り給与の事例は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルスタックエンジニア： 3,770-7,000 RON</li> <li>・研究・開発担当： 3,140-5,000 RON</li> <li>・ソフトウェア品質確認担当： 2,125-5,000 RON</li> </ul>	<p>出典： https://insse.ro/cms/sites/default/files/com_presa/com_pdf/cs07e20.pdf ルーマニア統計局のプレスリリース</p> <p>https://codecool.com/ro/blog/top-salarii-it/</p>

項目	ルーマニア	根拠資料
<p>機械工学・電気関連専攻を有する有力な高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）、連絡先</p>	<p>最も大規模な交流イベントは「Erasmus+（エラスムス・プラス）」。これには大学、専門学校、シンクタンク、研究機関、民間企業など、さまざまな組織が参加する。日本関係の交流イベントについては、クルージュ・ナボカ市の「千羽鶴」日本研究センター（SCJS）、ブカレスト市の日本ルーマニア研究センター（CSRJ）などが、主にオンラインイベントを開催している。</p> <p>大規模なキャリア・フォーラムとしては「Angajatori de Top」、「Targul de Cariere」といったイベントがある。これらはコロナウイルスの影響で、2020年はオンライン開催となった。その他、サイバー分野の専門学生組織による交流イベントなどがある。</p>	<p><a href="https://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/opportunities_en">https://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/opportunities_en</a> 欧州委員会ウェブサイト</p> <p><a href="https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/targabsolventi">https://www.hipo.ro/locuri-de-munca/targabsolventi</a> 大手人材紹介会社ウェブサイト、2020年大学院生のためのバーチャルフェア「Hipo.ro」</p> <p><a href="https://www.targuldecariere.ro/evenimente">https://www.targuldecariere.ro/evenimente</a> ジョブフェア</p> <p><a href="https://sisc.ro/proiecte/">https://sisc.ro/proiecte/</a> サイバー分野の専門学生組織のウェブサイト</p>
<p><b>(2) 実務経験者（大卒者）の採用</b></p>		
<p>機械工学・電気関連分野での就労者数</p>	<p>同部門の職種は多岐に亘るため、全容を把握するのは非常に困難。あくまで推測値としては、2019年、ルーマニアの機械工学・電気技術関係従業員は約114,000人だが、慢性的なエンジニア不足に陥っている。2019年末、ブカレスト工科大学の学長は、「今後10年間で、エンジニアがさらに40万人必要である」と発言。</p>	<p><a href="https://ziare.com/scoala/politehnica/rectorul-de-la-politehnica-romania-are-nevoie-in-urmatorii-10-de-ani-de-400-000-de-ingineri-fata-de-ce-produce-astazi-1589699">https://ziare.com/scoala/politehnica/rectorul-de-la-politehnica-romania-are-nevoie-in-urmatorii-10-de-ani-de-400-000-de-ingineri-fata-de-ce-produce-astazi-1589699</a> ニュースサイト</p>
<p>実務経験者（転職者）の就職方法</p>	<p>機械工学や電気技術の資格保持者にとって、2020年現在のルーマニア国内での就職先探しは非常に容易。求人専門業者またはLinkedInなどのオンライン採用プラットフォームを通じて募集が行われていることが多い。また、ジョブフェアなども就職探しに関して重要な手段となる。先述のAngajatori de Topは2006年からルーマニアで開催されており、工学系のエンジニアにとって重要なイベントとなっている。</p> <p>パンデミック以前は、ルーマニア国内で資格を持つエンジニアや実務経験者を探すことは困難だった。企業側にとって最も採用が難しい職種は、有資格の職人（特に電気技師、溶接工、機械工）と技師（特に化学技術者、土木技術者、機械技術者）だった。2019年版のManpowerGroupによる人材不足調査によると、ルーマニアでエンジニアの欠員補充を求める雇用者の割合は86%で、2018年の81%から増加している。この86%の人材不足率は世界2位となっており、89%の日本がトップ。2018年の主な人材不足原因は、(1) 採用可能なエンジニアの母数不足（41%）、(2) 専門知識・技能の欠如（22%）、(3) 職務経験値の欠如（16%）。</p>	<p><a href="https://www.catalyst.ro/project/angajatori-de-top/">https://www.catalyst.ro/project/angajatori-de-top/</a> ← ジョブフェアウェブサイト</p> <p><a href="https://www.manpower.ro/noutati/cercetari">https://www.manpower.ro/noutati/cercetari</a> ←人材関連企業調査</p>

項目	ルーマニア	根拠資料
外国語力（日本語、英語）	ルーマニアのホワイトカラーの機械工学・電気工学エンジニアの英語力は、中から高レベル。また、中世のドイツ系植民都市の名残があるルーマニア中央部（シビウ、ブラショフなど）には、ネイティブ並みにドイツ語が話せるエンジニアが多いたる。日本語ができるエンジニアはほぼ皆無と言ってよい。	ルーマニアの学生組合へのインタビュー
機械工学・電気を専攻する実務経験者へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	機械工学・電子工学に限らないが、日本企業からルーマニアの学生に向けて人材募集する場合、Catalyst社による「雇用者ガイド」を利用するの一つの手段。同ガイドは毎年、インターンシップや人材育成計画を焦点とする春季版と、技術関係の記事やキャリア・チャンスを含む秋季版がある。それぞれ、印刷版が1万部、オンライン版が5千部配布されている。 <a href="https://www.catalyst.ro/project/employers-guide/">https://www.catalyst.ro/project/employers-guide/</a>	<a href="https://www.catalyst.ro/project/employers-guide/">https://www.catalyst.ro/project/employers-guide/</a>
<b>5. その他</b>		
当該国政府の高度人材育成方針	ルーマニアの労働社会保護省では、2014～2020年の「全国人材戦略計画」にて、以下の目標を策定した。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 労働力育成活動の促進。</li> <li>2. デジタル・起業・社会スキル・外国語・コミュニケーションなどの主要能力の開発。</li> <li>3. 経済成長可能な業種のための労働力育成。</li> <li>4. 新技術や組織への適応支援など。</li> </ol> ルーマニア教育省では2017～2023年の「全国教育インフラ戦略計画」にて、就学環境が労働市場需要に対応できるよう、教育機関の学習施設の近代化、改修、フレキシビリティ向上を図るなどの目標を制定。	出典： <a href="http://www.mmuncii.ro/j33/images/Documente/Munca/2014-DOES/2014-01-31_Anexa1_Strategia_de_Ocupare.pdf">http://www.mmuncii.ro/j33/images/Documente/Munca/2014-DOES/2014-01-31_Anexa1_Strategia_de_Ocupare.pdf</a> ルーマニア・労働・社会保護省ウェブサイト・国家雇用戦略  <a href="http://www.anc.edu.ro/wp-content/uploads/2019/11/Strategie-SMIE_2017docx_0.pdf">http://www.anc.edu.ro/wp-content/uploads/2019/11/Strategie-SMIE_2017docx_0.pdf</a> 教育研究省傘下の専門機関ウェブサイト・2017年-2023年の教育インフラ近代化戦略  <a href="https://edu.ro/sites/default/files/_fi%C8%99iere/Minister/2016/strategii/Strategia_VET%2027%2004%202016.pdf">https://edu.ro/sites/default/files/_fi%C8%99iere/Minister/2016/strategii/Strategia_VET%2027%2004%202016.pdf</a> 教育研究省ウェブサイト・2016年～2020年のルーマニアにおける教育および職業戦略。

項目	ルーマニア	根拠資料
新型コロナウイルスの影響（短期的な変化に加え、構造的な変化等も見られる場合はそれも記載）	ManpowerGroupの最新雇用予想調査によると、パンデミックにより、2020年第3四半期にルーマニアの就業率が急速に悪化している。予測値では、第4四半期に純雇用予測数が14%減少する見込みだが、これは12年前に調査が始まって以来、最低値となる。また、2020年第2四半期より34%減、前年4四半期より26%減となる見通し。一方、同調査によれば、ルーマニアの雇用者の大多数（63%）が、2021年4月までにパンデミック以前の雇用状況に戻ると期待している。採用面接や、事務所内見学などがオンラインで実施されているが、一部企業ではこれらはパンデミック終息後も引き続き採用すると見られている。	出典： <a href="https://www.manpower.ro/noutati">https://www.manpower.ro/noutati</a> <a href="https://humangest.ro/ro/stiri/116-cum-a-afectat-covid-19-recrutarea">https://humangest.ro/ro/stiri/116-cum-a-afectat-covid-19-recrutarea</a> 人材コンサルのウェブサイト。（新型コロナウイルスが採用に対する影響）